保護者の声







長女：2020（令和2）年～2023（令和5）年在学
神奈川県川崎市立宮内中学校出身
次女：2024（令和6）年～2027（令和9）年在学
神奈川県川崎市立宮内中学校出身

わが家は姉妹そろって昭和第一高校のバレーボール部にお世話になりました。神奈川県、東京都を含めたさまざまな高校の部活動体験に参加しましたが、なかなか「進学したい」と思える学校に出逢うことができませんでした。そのような中、昭和第一高校の部活動体験に参加し、岸本先生のバレーに対する熱い想いや先輩方の温かい雰囲気に惹かれ、「このチームでバレーボールがやりたい！」と娘たちは即決しました。

ただ、現在大学生の長女は、コロナ禍の影響を受けてしまい、学校生活も部活動も思い描いていたような活動ができず、悔しい思いをするばかりでしたし。しかし、その限られた時間の中でも、岸本先生がなんとか選手のモチベーションを保とうと、選手全員の自主トレ動画を毎日のように工夫をされながら配信してくださったり、家でもできる練習法を指導され、バレーボールに向き合わせてくださったりしたおかげで、最後の大会となる夏季大会では優勝することができ、都ベスト24に入ることができました。

先日引退したばかりの次女の代のチームの活動も、決して平坦な道のりではありませんでした。しかしながら、新人戦ではベスト 32、全日本選手権大会ではベスト 24 の結果を残すことができました。このような結果が残せたのも岸本先生がいつも一人ひとりの可能性を信じ、個性を伸ばし、熱心にそして愛情深く向き合ってくださったおかげだと思っています。

また、昭和第一高校には技術の向上だけでなく、礼儀や仲間を思いやる心など「人として大切なこと」も学べる環境があります。そんな素晴らしい環境で娘たちはバレーボールを通して貴重な経験をさせていただき、技術的にも精神的にも入学した頃とは見違えるほど成長することができました。その姿を近くで見守り、一緒に応援できた日々は、私たち家族にとってかけがえのない時間でした。「昭和第一のバレー部に娘を預けて本当に良かった」と心から思っています。

昭和第一高校で得た学び、経験、仲間は、この先の人生においてきっと大きな力になると思います。先生方や部員の皆さまには感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。これからも「謙虚」な気持ちを忘れず、それぞれがそれぞれの目標に向かって挑戦してほしいと願っています。昭和第一高校女子バレーボール部のご活躍をこれからもずっと応援しています。

進路に悩まれている中学生の皆さん。是非、昭和第一高校の部活体験に参加してみてください。きっと高校 3 年間を有意義に過ごすことができると思います！